

要件整理から設計・実装、本番稼働後の運用・保守、  
継続的な改善までを一気通貫で支えるプラットフォーム

# PortX Formula

## サービス体系のご案内

費用の考え方とプロジェクトの進め方

費用の考え方

## 費用は「作る・変える」と「動かし続ける」の2つに分かれます

それぞれ発生するタイミングと内容が異なります。必要に応じてオプションを追加することもできます。

費用 1

### 構築支援費用

作る・変えるための費用

システムを立ち上げる、追加で作る、改修するための費用。要件定義から設計・実装・テスト・導入まで一貫して伴走します。本番稼働後の追加開発・横展開もこの費用で対応します。

費用 2

### 運用基盤費用

動かし続けるための月額費用

システムを本番で安定稼働させ、保守し、使い続けるための費用。監視・問い合わせ対応・障害原因究明・変更影響分析まで標準で含みます。

オプション

**高度運用支援** 手厚い人手による支援が必要な期間だけ追加できるメニュー（ハイパーケア・専用窓口など）

費用 1 - 構築支援費用

## システムを立ち上げる、追加で作る、改修するための費用

お客様の業務課題を整理し、要件定義から導入までを一貫して伴走します。Formulaでは仕様を中心にシステム全体が連動するため、設計書と実装のズレが起きにくく、手戻りを最小化できます。

### 含まれる活動(上流)

- 課題整理・要件定義・業務設計
- ASIs / ToBe の整理・合意形成
- 動く業務シナリオによる将来像の提示
- プロジェクト推進・ステークホルダー調整

### 含まれる活動(実装～導入)

- 設計・実装・テスト（単体～システムテスト）
- 導入準備・ユーザーテスト（UAT）支援
- 外部システムとの連携テスト
- 追加機能の開発・改修・横展開

課金形態：初期構築はプロジェクト単位、追加開発・改修は都度のお見積り。

費用 2 - 運用基盤費用

## 「動かし続ける安心」を月額で支える、6つの標準サービス

本番で安定稼働すること、問題の原因が分かること、変更の影響が事前に読めること、引き継ぎが壊れないこと——これらすべてを月額固定で支えます。

<p><b>本番環境・検証環境の提供</b> 本番と検証の2環境を常時利用可。変更を本番に影響なく試せます。</p>	<p><b>常時監視・バックアップ</b> 24時間の稼働監視と定期バックアップ。障害検知時は速やかに復旧対応。</p>	<p><b>セキュリティ・基盤保守</b> 認証・権限・操作履歴管理。セキュリティ更新と基盤保守を継続実施。</p>
<p><b>お問い合わせ対応</b> 操作方法のご案内から仕様確認まで、仕様書に基づいて回答します。</p>	<p><b>変更の事前影響分析</b> 「この業務ルールを変えたらどこに影響が出るか」を事前に調査します。</p>	<p><b>仕様と実装の整合性維持</b> 仕様書・設計書・システムが常に連動。「最新仕様が分からない」が起きません。</p>

**障害対応**：原因究明はすべて運用基盤費用の範囲内。Formula内の不具合であれば復旧・修正まで対応します。**サポート**：専用フォームで受付（24h可）、平日10:00～18:00で対応。**課金開始**：UAT開始時から発生。

運用基盤費用 - 価格レンジ

## ご利用規模・要件に応じた、3つのティア

含まれるサービスは前ページの6項目で共通です。利用範囲・部門数・SLA要件によって、3段階からお選びいただけます。

<p>TIER 1 - 単一業務向け</p> <h3>Standard</h3> <p>月額 <b>60～80万円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 単一業務・単一部門での利用</li> <li>▪ 本番1環境 + 検証1環境</li> <li>▪ 標準SLA</li> <li>▪ 問い合わせ月10件前後</li> <li>▪ 外部連携サーバーは別途</li> </ul>	<p>TIER 2 - 複数部門向け</p> <h3>Pro</h3> <p>月額 <b>100～150万円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 複数部門での利用</li> <li>▪ 外部連携あり</li> <li>▪ 問い合わせ件数が多い場合</li> <li>▪ より厚い保守支援</li> </ul>	<p>TIER 3 - 重要業務基盤</p> <h3>Enterprise</h3> <p>月額 <b>200万円～</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 複数拠点での利用</li> <li>▪ 高監査・高可用性要件</li> <li>▪ 重要業務基盤として運用</li> <li>▪ 個別設計</li> </ul>
---	---	--

※ 上記は目安レンジです。実際の金額は対象業務の規模・要件をヒアリングのうえ確定いたします。

オプション - 高度運用支援

## 標準の運用基盤に加えて、人手による手厚い支援が必要なときに

本番稼働直後の安定化や、定期的な運用改善が必要な期間だけ追加できるメニューです。常時ご契約いただく必要はありません。

<p><b>稼働直後の安定化支援（ハイパーケア）</b></p> <p>本番稼働直後の集中モニタリング。問題の早期発見と現場業務の安定化まで重点的に伴走します。</p>	<p><b>月次レビュー・改善提案</b></p> <p>月1回、利用状況や運用課題を一緒に振り返り、改善のご提案を行います。</p>	<p><b>優先障害対応・専用窓口</b></p> <p>専用窓口から優先対応。業務影響の大きい障害により迅速な初動が可能です。</p>
<p><b>改修計画の策定支援</b></p> <p>「次に何をどの順番で改善すべきか」をPortXと一緒に検討し、ロードマップを策定します。</p>	<p><b>運用定着フォローアップ</b></p> <p>新システムが現場で確実に使われるまで、操作支援・運用ルール調整・FB対応を伴走します。</p>	<p><b>ご利用者向けトレーニング</b></p> <p>操作方法と活用のコツを直接ご説明。新メンバー加入時の研修にもご活用いただけます。</p>

プロジェクトの流れ

## 商談から本番稼働、継続的改善まで一気通貫

5つのフェーズを通じて、各フェーズで発生する費用を明確にしています。運用基盤費用はフェーズ3（UAT）から開始します。

<p><b>01</b></p> <p><b>課題構造化と将来像共有</b></p> <p>業務課題のヒアリング、AsIs/ToBe整理、動くToBeの提示。</p> <p>FEE - なし</p>	<p><b>02</b></p> <p><b>初期構築</b></p> <p>要件定義 → 設計 → 実装 → テスト。手戻りを最小化。</p> <p>構築支援費用</p>	<p><b>03</b></p> <p><b>UAT・導入準備</b></p> <p>実業務データで検証。本番環境がここから稼働。</p> <p>構築 + 運用基盤 開始</p>	<p><b>04</b></p> <p><b>本番稼働</b></p> <p>業務利用の開始。ハイパーケア（オプション）推奨。</p> <p>運用基盤 + 高度運用</p>	<p><b>05</b></p> <p><b>継続的な改善・拡張</b></p> <p>機能追加・横展開・運用改善。影響範囲が事前に分かる。</p> <p>構築（都度）+ 運用基盤</p>
---	--	---	--	--

外部システム連携が含まれる場合、相手方の開発スケジュールにより期間が変動することがあります。その場合でもFormula内で完結する範囲から先にUATへ進めることが可能です。

標準メニューの範囲・お問い合わせ

## 標準の範囲で大半のニーズをカバー、特殊要件は別途対応

### 標準メニューに含まれるもの

- ✓ 要件定義から導入までの一貫した構築支援
- ✓ 本番・検証環境の提供
- ✓ 監視・バックアップ・障害復旧
- ✓ セキュリティ対策・認証・権限管理
- ✓ お問い合わせ対応・障害原因究明
- ✓ 変更影響の事前分析・整合性維持

### 別途お見積りとなるもの

- 専用ネットワーク・特殊インフラ構成
- 特別な監査・コンプライアンス要件
- 外部連携用サーバーの構築・運用
- 大量データ処理・高頻度バッチ処理
- 社内向け教育・トレーニングプログラム

具体的な費用は、対象業務の規模・範囲をヒアリングのうえ個別にお見積りいたします。

まずは「動くToBe」をご覧くださいながら、業務課題と進め方をすり合わせるところから始めましょう。

担当営業までお気軽にご相談ください